

海況速報

平成元年度 第5号 (No.11)

平成1年12月22日

北海道立水産試験場

12月上旬の海況の特徴

12月の定期海洋観測は、特に日本海では、季節風の吹き出しによる大時化やその後の日程の都合により一部しか実施できませんでした。

[日本海]

北緯45度30分線では、沿岸域には表面～100m深まで10℃のところが見られます。沖合域も含め、全般に昨年よりはかなり高めとなっています。

北緯43度30分線で、積丹沖～石狩湾海域では表面～100m深まで最高11℃を示しています。沖合域も含め、一般的にやや高めの傾向です。

[オホーツク海]

他海域に比べ、表層での冷却が急激に進んだのが特徴的で、表面水温は沖合域や網走湾沖では1℃台まで降温しているところが見られます。しかし、枝幸以北の宗谷沿岸域では最高9℃台の宗谷暖流水が表面までみられ、水温は昨年より高くなっています。沖合域の中・下層では、0℃以下の水温域はみられなくなりました。

[太平洋]

道東沿岸域では、表面～100m深まで6～7℃台で昨年よりは高めとなっています。

日高～胆振沿岸域では、全般的には昨年より低めの傾向で、特に100m層で著しくなっています。

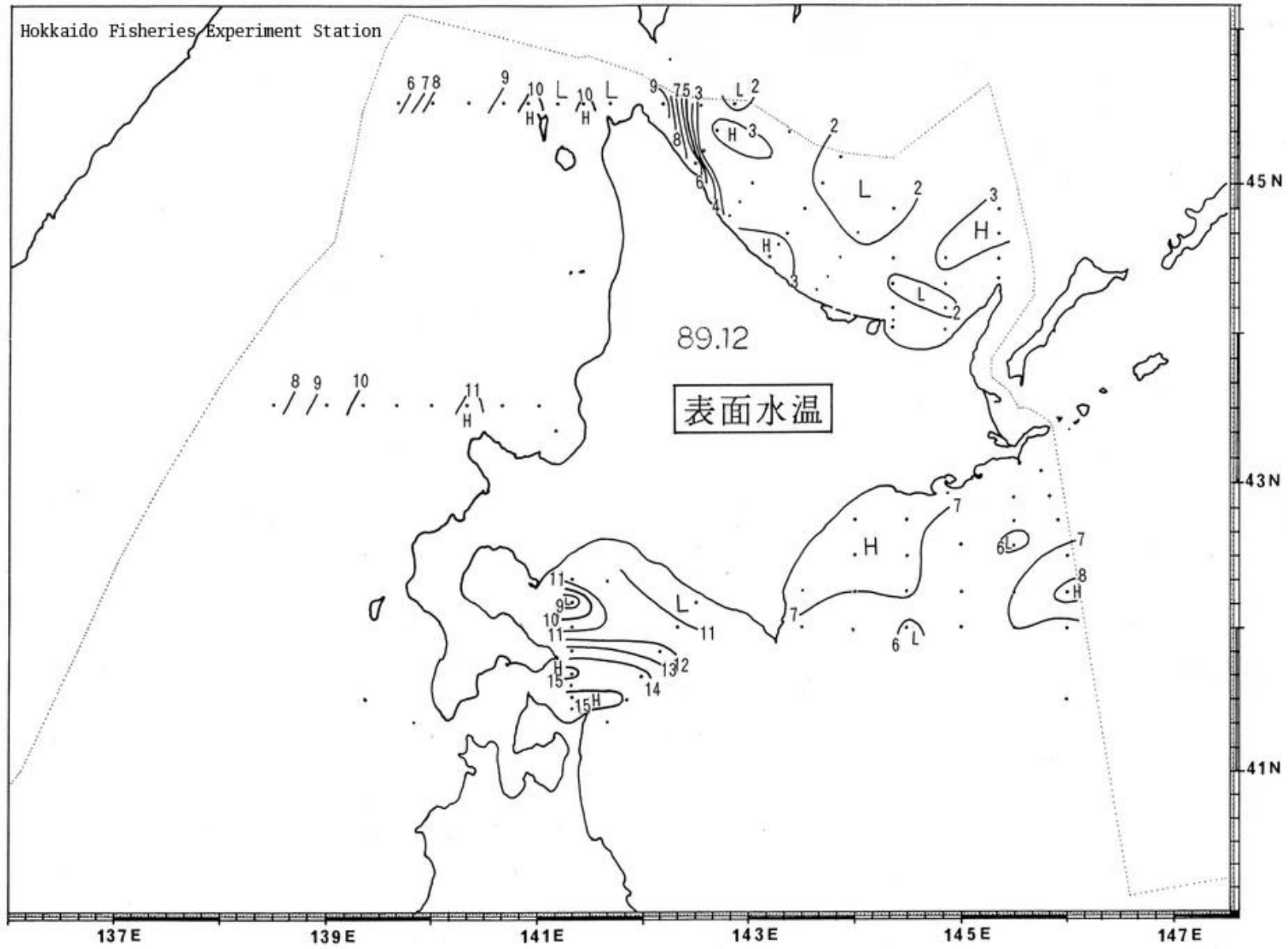
津軽海峡東口沖(南側)では、表面～100m深まで最高15℃台の津軽暖流水が張り出しており、水温は昨年より2～3℃高くなっています。

資料 [観測期間]

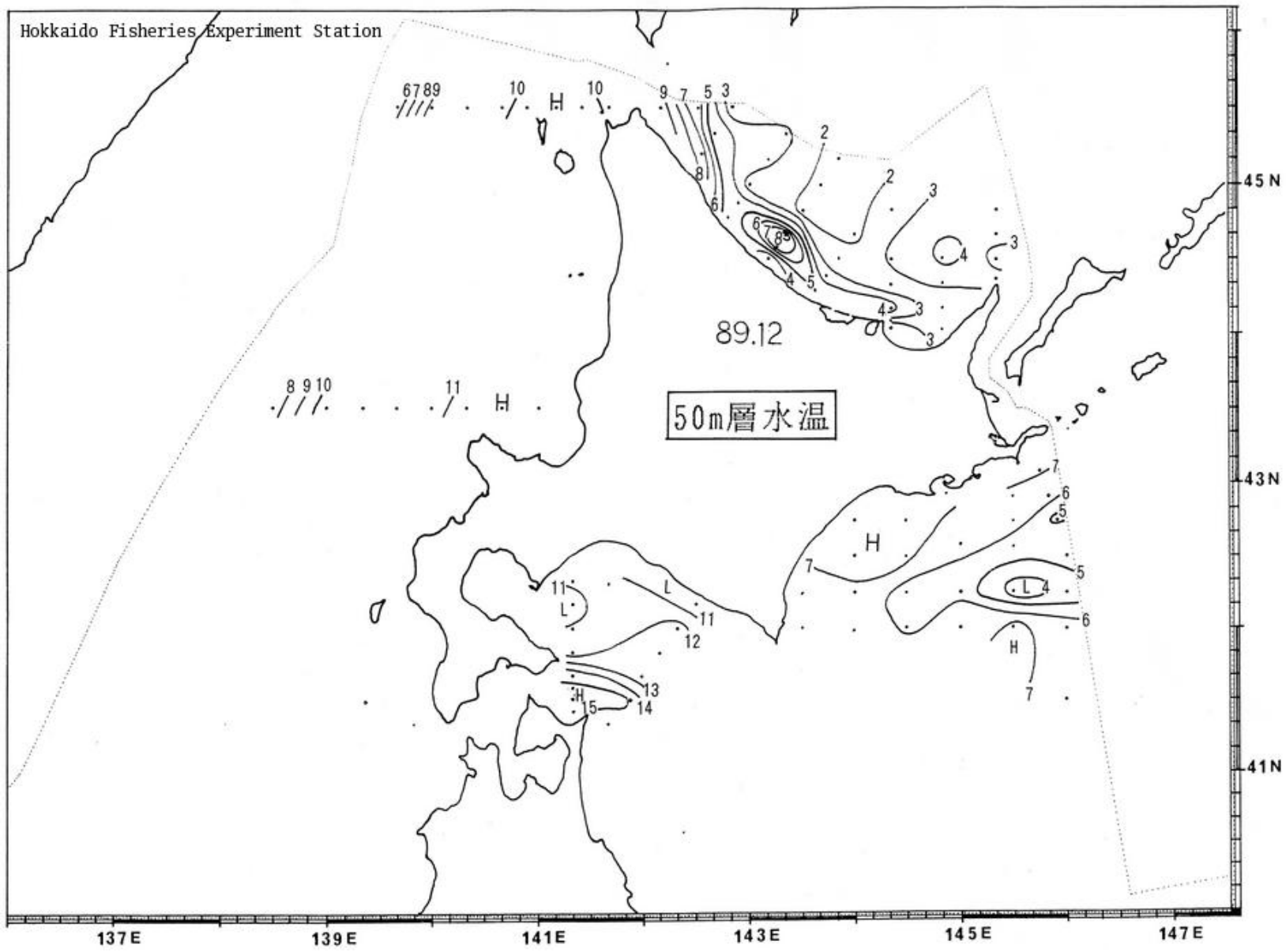
稚内水試(北洋丸)	12.7	(道北日本海域)
	12.11 - 14	(オホーツク海域)
釧路水試(北辰丸)	12.6 - 8	(道東太平洋海域)
函館水試(金星丸)	12.7 - 8	(道南)
中央水試(おやしお丸)	12.7 - 8	(道央日本海域)

(中央水試 海洋部)

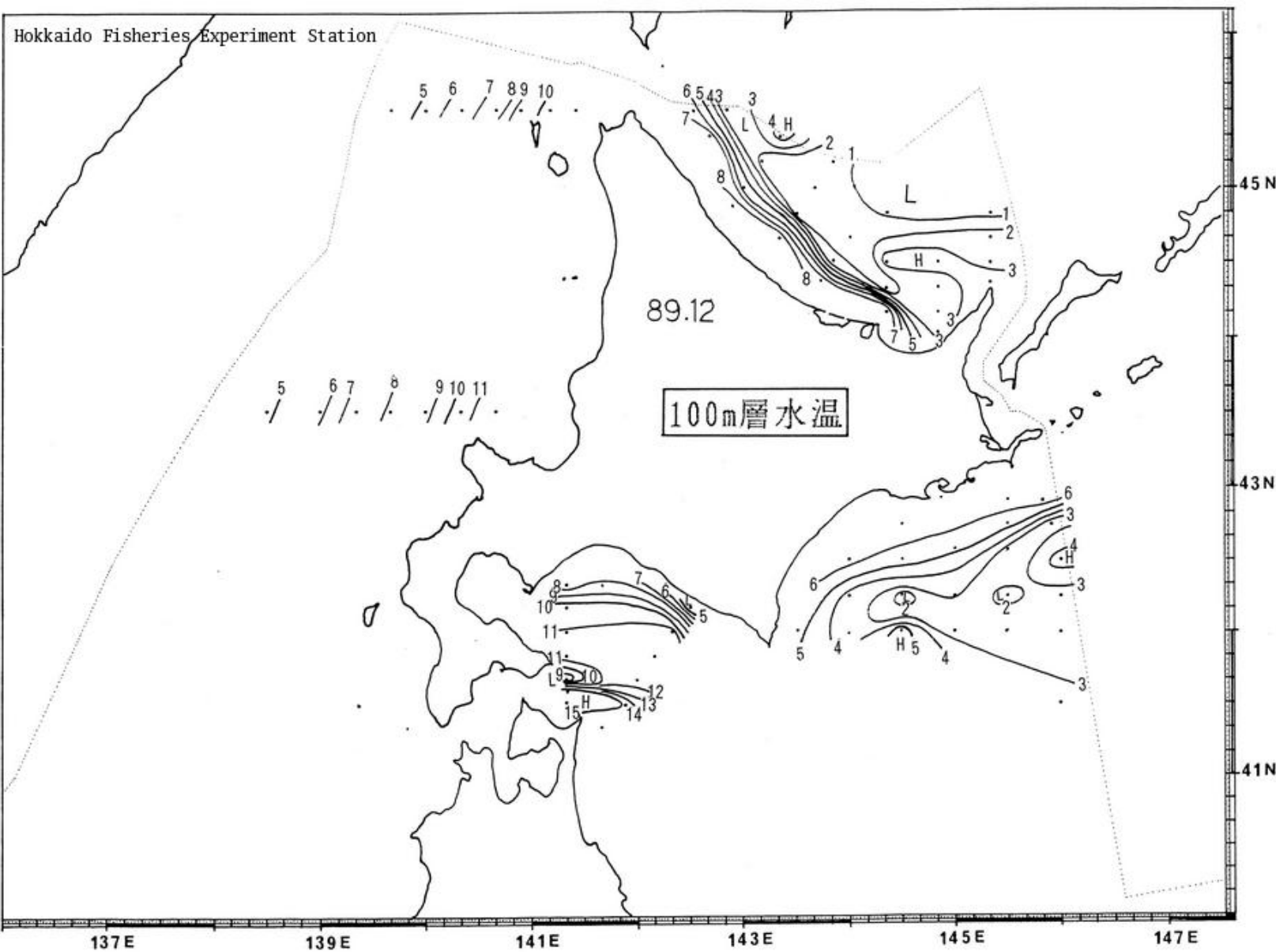
Hokkaido Fisheries Experiment Station



Hokkaido Fisheries Experiment Station



Hokkaido Fisheries Experiment Station



89.12

100m層水温

137 E

139 E

141 E

143 E

145 E

147 E

45 N

43 N

41 N